

ISO/TC123/SC3 国際会議出席報告書

報告者：日本機械学会 ISO/TC123 平軸受国内委員会 花橋 実

1. 会議名：ISO/TC123/SC3（寸法、公差及び形状）

2. 開催地(場所)：ドイツ ハノーバー CROWNE PLAZA Hotel FESTR AUM1 室

3. 開催日時：2008 年 6 月 5 日 9:00～12:00

4. 出席者：

・ P メンバー国：

日本 9 名（田中正、染谷常雄、山本隆司、三原雄司、三和高明、洪秀明、山田晃、岡本裕、花橋実）

ドイツ 7 名（Manfred Hukker、Gunnar Hanschke、Klaus Deicke、Manfred Häuser、Klaus Pucher、Albert Schmitz、Gerd Hermes）

イギリス 1 名（Geoffrey Senior）

韓国 1 名（Kim Choong Hyun）

議長：Manfred Hukker

幹事：Gunnar Hanschke

幹事国：ドイツ

5. 配布資料

(1) Attendance Lists ISO/TC123/SC3 Hanover Meeting

(2) N373 Notice of meeting and revised draft agenda

(3) N370 Report of the secretariat

(4) N366 ISO3548-1 (E) Version 2007-06-05

(5) N374 Result of voting and comment on ISO DTR27507

6. 主要な確認・審議・決議事項等

(1) 開会(Opening of the meeting)

M. Hukker 氏からの SC3 会議開催宣言。

(2) 代表者の点呼(Roll call of delegate)

出席者のリストが回付され、Gerd Hermes 氏(Tilting Pad 製造メーカーである John Crane Bearing Technology GmbH)がドイツ側委員として参加していることが議長より紹介された。他のメンバーは、前 SC 会議からの出席者と同メンバーの為、自己紹介は省略された。

(3) 議題案の承認(Adoption of the agenda)

N373 Notice of meeting and revised draft agenda に基づいて当会議の議題に関する説明があり、異議なく承認された。

(4) 起草委員会の任命(Appointment of the drafting committee)

起草委員会として Albert Schmitz 氏及び Geoffrey Senior 氏の推薦があり承認された。

(5) 幹事国報告(Report of the secretariat)

Gunnar Hanschke 幹事から、配布資料 N370 に基づき SC3 の組織構成メンバー (P メンバー 8 カ国 : 中国、ドイツ、日本、韓国、ロシア、南アフリカ、スペイン、イギリス、O メンバー 11 カ国の説明があり、Beijing 会議の報告がなされた。

(6) 規格に関する討議・審議内容

Agenda 6.1 ISO/TR 27507, Plain bearings – Recommendations for automotive crankshaft bearing environments

N374 に基づき投票結果 (2008 年 5 月 27 日締切り) の報告及びコメントの内容について確認された。中国からのコメントに対しては、各国 2008 年 7 月 31 日までに内容を検討し幹事まで回答をすることとなった。

Agenda 6.2 ISO/WD 3548-1, Plain bearings – Thin-walled half bearings with or without flange – Part1: Dimensions and tolerances

N366 に基づき内容が検討された。追加事項等の要求はなく、C D 投票を実施することが承認された。

(7) 今後の業務項目

M. Hukker 議長より参加者に確認したがとくになかった。

(8) New work item proposal “Standardizing tilting pad type bearings” form Japan

- ・ 田中委員長よりタイトル “Overview of Tilting Pad Journal and Thrust Bearings” にて、ティルティングパッド軸受の概要を説明し、規格化の提案がなされた。各国から提案に対していろいろなコメント等が述べられた。結果、下記の通りの決議となった。
- ・ 提案は、NWIP として扱うことが了承された。
- ・ ただし、ティルティングパッド軸受の規格化に対する意見と参画について、各国にて生産者と大手ユーザーに対して確認することとなった。

(9) 次回会議開催の件

ISO/TC123/SC3 の次回会議日程は、ISO/TC123 委員会 (6/6) で審議されることとなった。

(10) その他の業務案件

M. Hukker 議長より参加者に確認したがとくになかった。

(11) 決議の承認

決議案 (Resolutions taken at the 25th meeting of ISO/TC123/SC3) が議長から読み上げられ、異議なく承認された。

(12) 閉会

議長が閉会を宣言し SC3 会議は終了した。

(以上)